



「第49回関東ブロック茶の共進会」で

農林水産大臣賞を受賞

とづか くにゆき 戸塚 訓由 さん



PROFILE

とづか くにゆき(新野南・48)
茶農家の三男として幼少期からお茶に慣れ親しむ。
平成26年に父の跡を継ぎ、丸池製茶株式会社代表取締役就任。

7月27日から29日にかけて埼玉県入間市で開催された「第49回関東ブロック茶の共進会」で、丸池製茶株式会社が最高位である農林水産大臣賞を初受賞した。

同共進会は、国内三大茶品評会の1つで、静岡、埼玉、茨城、新潟の4県の農家がエントリーする。同社は荒茶・深蒸し煎茶の部へ出品。34点の中の頂点に選ばれた。

満点評価で初の農林水産大臣賞

共進会では、「外観」「水色」「香気」「滋味」の4項目が審査される。同社が出品したお茶は、なんと全項目で満点の評価を得た。初めての農林水産大臣賞受賞だった。

代表取締役の戸塚訓由さん(新野南)は、「約30年出品してきましたが、今回出品したお茶は、ここ数年の中でも特に状態の良いものでした。自信をもって出品したものでしたが、まさか満点で農林水産大臣賞をいただけるとは思わず、とにかく驚きました。家族や従業員と一緒に喜びました」と受賞の連絡を受けた時のことを振り返る。

御前崎茶を飲んでもらいたい

「御前崎茶の知名度を上げ、御前崎茶をもっとたくさんの人に飲んでもらいたいですね」と話す戸塚さん。

戸塚さんは、お茶の魅力をたくさんの人に伝えるため、妻の彩子さんと共に「お茶インストラクター」の資格を取得した。「お茶にはリラックス作用や生活習慣病の予防効果があります。お茶を飲むだけで心身に良いことがたくさんあるんですよ」とお茶の魅力を語る。

同社は、おいしいお茶を作るために茶畑のきめ細やかな管理を毎日欠かさず行っている。良いお茶を作るには、茶の芽をそろえることが大切で、使用する肥料にもこだわっているという。農産物の生産過程における食品安全・労働環境・環境保全などの持続可能性を審査するアジアギャップの認証を受けるなど環境や安全性にも配慮している。

「たくさんの人にお茶の魅力を知ってもらいたい」と笑顔で話す戸塚さんからはお茶への愛が感じられた。